



小松市立学校PTA連合会
会長

田村 義彦

“ 大人が自ら学び・行動を。子どもたちのよりよい未来へ！ ”

平素より小松市立学校PTA連合会に対しまして、ご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。まず初めに、昨年元日に発生しました能登半島地震、そして9月の能登半島豪雨において被災された子どもたちを含む多くの方々に心よりお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興を衷心よりお祈り申し上げます。

令和6年度に予定されておりました事業も全て実施させていただくことができました。主要なものとして、まず7月に小松市民センターにおきまして「今どきの性教育～大人が知っておきたいこと～」と題して、菜の花助産院の植田幸代氏による講演会を開催、8月には木場潟公園にて親子のふれあい事業として「親子カヌー体験」を実施し、多くの子どもたちに楽しんでいただきました。また、10月の「第67回小松市PTA研究大会」では、国府小学校育友会、向本折小学校育友会、安宅中学校PTAの3校に発表をして頂き、各学校の研究内容を通して色々な気づきやアイデアを参加者の方々と共有させていただきました。併せて、私たちにもできるSDGs運動として「親子でワークショップ」を実施。予想を大きく超える100組以上の親子の方々に参加していただくことができ、大盛況となりました。そして、11月には小松市内の小中学生によるギネスチャレンジを小松ドームにて開催。見事、ギネス記録を達成することが出来、会場は子どもたちの大きな歓喜に包まれました。これは各学校や校下を超えて子どもたちが一つの目標に向かって協力し合う喜びを感じていただけたものと確信しております。

こうして本年度の事業を滞りなく終えられましたのはPTA会員である皆様のご協力があるからこそだと考えております。来年度以降も「子どもたちの笑顔のため」本年度の反省を活かし、より発展的に見直しを図りながら活動を展開して参りたいと思っております。

結びに、本年度の活動にあたりPTA会員の皆様や学校の先生方、また教育委員会をはじめ関係各位の格別なるご理解とご協力に深く感謝申し上げます。今後とも小松市立学校PTA連合会に、引き続きご支援とご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。



小松市中学校校長会
会長

荒木 達人

“ 未来の宝のために ”

小松市立学校PTA連合会の皆さまには、日頃から子どもたちの健やかな成長のために様々な方面から学校を支えて頂いていることに心から感謝申し上げます。今年度、さまざまな会合で小松市立学校PTA連合会の役員の方々と会話をする機会をいただきました。その中で、皆様の熱い思いを感じることができました。今後、私たち学校関係者との連携を深め、未来の小松市を創り上げていく大切な宝である子どもたちをともに育てていく必要性を感じました。

文部科学省が定めている学習指導要領に以下の文章があります（一部抜粋）。『今の子どもたちが成人して社会で活躍する頃には、我が国は厳しい挑戦の時代を迎えていると予想されている。生産年齢人口の減少、グローバル化の進展や絶え間ない技術革新等により、社会構造や雇用環境は大きく、また急速に変化しており、予測が困難な時代となっていると言われていく。変化の一つとして、人工知能の飛躍的な進化を挙げることができる。人工知能が自ら知識を概念的に理解し、思考し始めているとも言われ、雇用の在り方や学校において獲得する知識の意味にも大きな変化をもたらすのではないかと予測も示されている。』

この文章は、6～7年前に示されたものですが、今、まさに実感として感じられるようになってきました。子どもたちには、毎日の生活を豊かなものとし、自分のよさを知るとともに、家族や友だちなど周囲の人たちを思いやる心を大切に、たくましく21世紀を生きて抜いてほしいと願います。

そのためにも、私たち学校関係者と保護者の方々、地域の方々が連携をさらに深め、『未来の小松市・石川県・日本・世界を創り上げていく大切な宝』である子どもたちをともに育てていく必要性を感じています。



小松市立小学校校長会
会長

北村 聖子

“ 熱い思い ”

11月、稚松小学校で4年ぶりに飲食ありの「ふれあいまつり」が開催されました。開催に向けて、育松会の会長さんを中心に、役員の方々が何度も集まり、議論を重ね、準備に多くの時間をかけていただきました。そのおかげもあり当日は大盛況。たくさんのお子どもたちが、保護者の方が、そして地域の皆さんが笑顔で参加してくれました。

「ふれあいまつり」の大成功は、事前に費やした準備の時間の賜物であることは言うまでもありませんが、「子どもたちに楽しい思い出をつくってもらいたい。」という熱い思いがあったから、あれだけの大成功を収めることができたのだと感じています。

思い起こせば、これまで赴任したどの学校でも「子どもたちや学校のために…」という思いは、PTA役員をはじめとする保護者の皆様からたくさんいただけてきました。そんな熱い思いに支えられ、子どもたちは豊かに育っていきます。今、改めて、心からの「ありがとう」と「これからどうぞよろしく」をお伝えしたいと思っております。

石川県PTA地区別研究指定発表会 第67回小松市PTA研究大会

「わたしたちにもできるSDGs運動」小松市民大会

開催日：令和6年10月26日(土) 場所：小松市民センター

研究大会に先立ち、PTA活動に献身的に取り組まれてこられた功労者の方々をお招きし、小松市教育委員会表彰状授与式が行われました。

休憩をはさみ、研究大会が始まりました。安宅中学校PTA・国府小学校育友会・向本折小学校育友会、どの発表も素晴らしい内容になっており、本当に皆様聞いていただきたいものでありました。研究大会の発表は大変なご苦労だったと思います。お疲れさまでした。

小松市教育委員会表彰状



駒澤 美紀 様・若山 弘子様
林 恭弘 様

小松市立学校PTA連合会会長感謝状



小村 康史 様・土田 信子様

小松市立学校PTA連合会のひとつの活動として、すべての人々にとってより良い未来のために世界的に推進されている、「持続可能な開発目標」SDGsについて、2022年度から学びながら活動をスタートさせ今年で3年目となりました。

本年度、「親子で考え行動しよう わたしたちにもできるSDGs運動」をテーマとし、活動の一環として、夏休み期間中に子どもたちだけでなく、ご家庭・親子でSDGsの取り組みについて向き合ってもらいたいという想いをのせて、標語・ポスター・レシピ・作文の応募を募らせていただきました。

作品応募総数2,953点と多くの応募を子どもたちにさせていただきました(わが家のSDGs標語2,305点、SDGsを考えるポスター・絵画102点、わたしのSDGsレシピ396点、わたしたちにもできるSDGs作文150点)。

「親子で考え行動しよう わたしたちにもできるSDGs運動 小松市民大会」において特に優れていた作品20点を表彰させていただき、また応募していただいた全て作品

に対してエコマーク商品のスティックのりを贈らせていただきました。

本大会では、海洋プラスチックゴミをアクセサリ等にアップサイクルされている、カエルデザイン合同会社川崎氏に演題『よりよい未来にカエル』として講演をしていただきました。また、カエルデザイン様にご協力いただき、親子参加型のイベントとして、海洋プラスチックゴミを使ってペンギンキーホルダーを作るワークショップを開催し、大変多くの方に参加いただき、大盛況のうちに無事に終えることができました。

これらの活動が子どもたちの健全育成へと繋がり、各ご家庭、地域での活動の一助となれば幸いと存じます。

最後になりますが、「わたしたちにもできるSDGs運動」にご支援、ご協力をいただきました多くの皆様へ心より感謝申し上げます。

未来の宝育成委員会 委員長 石島 英彰

〈わたしたちにもできるSDGs運動〉入賞者のみなさん

◆『わが家のSDGs標語』部門

能美小学校	2年	河野 詩音さん
稚松小学校	4年	柘野 煌馬さん
第一小学校	5年	吉田 蓮翔さん
芦城中学校	1年	近藤 早姫さん
国府中学校	2年	水原愛莉姫さん

◆『わたしのSDGsレシピ』部門

東陵小学校	4年	塚本 愛椛さん
第一小学校	5年	岩崎 蓮斗さん
今江小学校	6年	酒田 侑菜さん
南部中学校	1年	山本 晴雅さん
芦城中学校	2年	麻野慎太郎さん

◆『SDGsを考えるポスター・絵画』部門

今江小学校	1年	杉宮愛音咲さん
今江小学校	2年	井上 泰那さん
安宅小学校	3年	石島 仁那さん
今江小学校	4年	井上 佳星さん
松陽中学校	1年	大田 姫楓さん
中海中学校	2年	江畑 宙人さん

◆『わたしたちにもできるSDGs作文』部門

蓮代寺小学校	3年	横田 千歳さん
東陵小学校	3年	中田 杏さん
第一小学校	5年	中村 綾杜さん
芦城中学校	1年	泉 咲彩さん



式典・表彰式



田村義彦 会長



宮橋勝栄 市長



石郷岡信二 氏



わたしたちにもできるSDGs運動入選者 表彰式

入 選 作 品



受賞された皆さん おめでとうございます！



『わが家のSDGs標語』部門 入賞者



『わたしのSDGsレシピ』部門 入賞者



『わたしたちにもできるSDGs作文』部門 入賞者



『SDGsを考えるポスター・絵画』部門 入賞者



講演会

よりよい未来にカエル

講師：カエルデザイン合同会社 川崎朱美子 氏

カエルデザイン合同会社 川崎朱美子氏より『よりよい未来にカエル』というテーマで講演いただきました。

カエルデザイン合同会社では海洋プラスチックゴミをアクセサリにアップサイクルすることなどの活動をしているとのことでした。

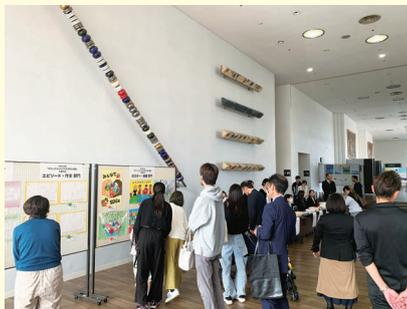
2015年鼻にストローが刺さったウミガメが発見されたことを機に、海岸のゴミの様子を見に行ったことから海洋ゴミのアップサイクルを考え始めたとのことでした。

講演の中で、海洋プラスチックゴミがどのように発生するのか（海で発生したものよりも、街で発生して川から海に流れ着いているゴミの方が多い！）、海洋生物や私たちの未来にどのように影響するのかをお話していただきました。スライドで示された安宅海岸に押し寄せるゴミの様子は非常にショッキングなものでした。

一方で、例えゴミでも、視点を変えれば「かわいい!?’’もの」でアクセサリ-の材料になるという考え方は、SDGsに取り組む際に参考になるものだと思います。2030年のSDGsの目標達成とより良い未来に繋げるため、私たちにできることは、買うもの・使うものを選択していくことが必要であるとお話していただきました。また私たち大人は、子どもたちが自信をもって選択・決断できるように自立を促すことが大切だということでした。



当日の様子



安宅中学校 「学校・家庭・地域の連携で育てる心豊かな生徒」

“子どもを家庭で育て 学校で鍛え 地域で磨く”

学校だけではなく家庭や地域の方々と三位一体となり子どもたちを育てていくことが大切との思いから、安宅中学校では「学校・家庭・地域の連携で育てる心豊かな生徒」をテーマに掲げ、伝統として続いているPTA活動や地域への行事参加などが、子どもたちの成長にどの様な影響を与えているのかを調査・研究してきました。調査項目は『1.資源回収』『2.海岸清掃』『3.無言清掃』『4.学校保健委員会』『5.安宅祭り』の5項目で、生徒や保護者へのアンケート調査を通して子どもたち心の変容を見てきました。

地域の方々が全面的に協力してくださる『資源回収』では、大人たちと協力しながら活動する中、大人たちから「ありがとう」「ごくろうさま」と感謝され感激する生徒。SDGsの活動目標にある【海の豊かさを守ろう】に通じる『海岸清掃』に参加し、自然を護る大切さを体験を通して感じる生徒。地域の大人だけではなく先生方も参加して盛り上げてくださる『安宅祭り』と一緒に参加した生徒の充実した笑顔。

アンケート調査でも生徒の8割以上、項目によっては9割以上の生徒が活動に喜びや意義を見出し「自己有用感・自己肯定感」を感じていることがわかりました。

これからも「子どもたちの豊かな心を育む」を目標としてPTA活動をより良いものにしていきたいと考えております。

安宅中学校PTA
会長 田村 義彦



国府小学校 「親子で加賀立国1200年を楽しもう」～地域交流の再活性化と国府の歴史を再発見～

国府小学校育友会は「親子で加賀立国1200年を楽しもう」をテーマで研究大会に向けて活動を行いました。近年コロナ禍の影響で地域の交流が少なくなる中で西暦2023年が加賀立国1200年の節目を迎えた年となりました。そのため多数のイベントが開かれ、地域交流が以前に近い状態になればと思い、育友会でも参加したり運営の手助けを行い地域の歴史を再発見できればと考えました。そのためまず加賀立国1200年の意識調査を行い、学校の授業で加賀立国1200年を題材にした体験学習や講演会を行って子どもたちに興味を持ってもらい、地域のイベントの参加を促し多くの参加者が集まりました。改めて意識調査を行い意識の変化としては肯定的な意見が増える結果となり、活動を通じて地域の交流が多くなり国府の歴史を再確認できました。今後も育友会では学校と地域の架け橋になって子どもたちが安全で安心してより良い教育を受けられる活動をしていきます。最後になりますが研究大会の準備に関わった学校関係者の皆様、前年度の育友会役員の皆様には企画から発表まで携わって頂いたおかげで素晴らしい発表会となりました。又開催の準備をして頂いた小松市立学校PTA連合会の皆様にも助力を頂き本当にありがとうございました。

国府小学校育友会
会長 南 隆博



向本折小学校 「持続可能なPTA活動を目指して」

向本折小学校育友会は、現在の活動紹介ならびに育友会組織の改変（への模索）を研究発表のテーマに設定いたしました。

- ① 児童数（保護者）の減少に代表される社会環境の変化・多様化に見合った組織のあり方を考えざるを得ない現状
- ② 保護者に実施したアンケート結果で露わとなった育友会活動の内容・組織自体への認知、理解不足
- ③ 役員になっても家庭・仕事の都合により参加ができない方が多い事

上記の様な現状を踏まえた上で、今後も一部に負担が偏ることなく活動を継続させていくために今できることは何なのか、研究発表を機に改めて考え直すことができました。

育友会の改革としては、令和7年度より行事を見直し、6委員会を4委員会に整理・統合します。また、理事数を15名から10名へ削減して組織のスリム化を行い、役員の選出方法も変更しました。今後は、より活動の見える化を進めて役員の負担軽減および偏重の解消をし、多くの保護者による活動参加を目指します。

理想的な組織や活動には直ぐには繋がらないかもしれませんが、「出来る人が、出来る時に、出来る事をやる」事を目標とし、今後も引き続き模索しながら活動していきたいと思っております。

向本折小学校育友会
会長 村中 是孝





ギネスチャレンジ in 小松ドーム

令和6年11月24日(日)



この度、昨年度小松市で周年を迎えた小中学校がいくつかあったことから、小松市立学校PTA連合会として何か記念に残る事業ができないかと考え、ギネス世界記録に挑戦しよう！という企画を立ち上げました。

1年余りの準備期間を経て参加者を募り、当日は子どもたちを中心に336名で、新幹線(E7系)の図柄を人文字で作りました。防災意識を高める観点から家庭で使用するゴミ袋(45ℓ)で作成した簡易ポンチョを被り、ドローン撮影に挑むこと数分。撮影の間、姿勢を保つのが大変でしたが参加者みんなで頑張って、みんなで協力しあって新幹線の図柄を完成させる事ができました。

司会のぶんぶんボウルのお二人にも大いに盛り上げていただき、会場はたくさんの笑顔に溢れていました。今回の企画は、児童育成の一環として子どもたちに挑戦する力や、みんなで協力することの大切さを感じてもらい、一生心に残る思い出を作ってもらいたいという願いがありました。

そして12月1日にギネス世界記録達成を達成いたしました！右記はギネスワールドレコーズより頂いたギネス世界記録達成の認定連絡です。



令和6年11月24日に行われました

「Largest human image of a train」の挑戦が見事ギネス世界記録として認定されました事をご報告いたします。記録文は以下の通りです

「The largest human image of a train consists of 336 participants and was achieved by Komatsu City School PTA Federation (Japan) in Komatsu, Ishikawa, Japan, on 24 November 2024」挑戦の一部始終を審査いただきましたギネスワールドレコーズからのコメントを掲載させていただきます。

「ご提出いただいた証拠映像、写真からは、生徒やPTAの皆さんが力を合わせて挑戦に臨んだことが分かり、小松市立学校の生徒、保護者などの皆さんの素晴らしいチームワークにより達成された記録であることが見て取れました。改めて、この度はギネス世界記録達成おめでとうございます!! Congratulations! You're officially amazing!」

第73回日本PTA全国研究大会石川大会 開催！

サステナブル(持続的可能な)未来づくりのために ~創造と協働の継承を石川から~

令和7年8月22日(金)と23日(土)の2日間、石川県で「第73回日本PTA全国研究大会石川大会」が開催され、県内6市(七尾市、金沢市、野々市市、白山市、小松市、加賀市)で分科会が行われます。

大会のテーマは、「サステナブル(持続的可能な)未来づくりのために ~創造と協働の継承を石川から~」です。また、伝統文化が息づく地「石川」。震災からの復興の道を歩む「石川」。として、子どもたちの未来のために学び合う機会となることを願っています。

小松市では8月22日(土)に“小松芸術劇場うらら”にて「家庭教育」をテーマに分科会が開催されます。

小松市立学校PTA連合会の皆さんで、全国各地から参加される皆様と交流し、「石川県小松市」の良さ知ってもらいたいと思っています。

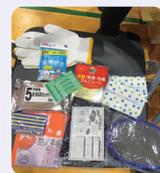


小松市市民防災訓練

令和6年10月20日(日)小松市市民防災訓練が矢田野校下で開催されました。

小松市立学校PTA連合会では、昨年度に続き2年連続で参加させていただきました。

我々のブースでは防災グッズ、防災書籍の紹介、お子さん向けのクイズ、防災ノベルティの配布などを行いました。



●防災ノベルティの内容

大人向けには圧縮タオル、簡易トイレセット、レジャーシートセット。子ども向けには軍手・ロープ・笛セット、消化器方水鉄砲、おりがみ、クリアファイル。

他のブースでは小松豪雨、能登半島地震、能登豪雨などの様子がわかる写真展示や防災ボランティア受付の流れの説明。また、災害対策用プライベートルーム体験や簡易トイレ体験などありました。実際にプライベートルームのダンボールに座ってみると強度もあり避難時であると本当に便利だと感じました。

今後も、このようなイベントに参加し、防災意識への関心が少しでも高まるように尽力していきます。



研修委員会の取り組み

研修委員会 委員長 加旗 宏邦

今年度は能登地震がありとても大変な年度の始まりとなりましたが、輝く心の学び委員会と協力しながら講演会の準備をしました。

今年度の講演は性教育を取り上げ『菜の花助産院・植田幸代氏』にお声かけしご講演していただきました。遠くは野々市市からもご参加いただくことができ充実した講演会を開催することができました。また今年度は『単P意見交換会』を開催し、各学校の取組などを参考にたくさんの意見がありました。

少子化を感じる意見もありPTAの在り方を考えさせられる深い意見もありました。

初めての事業ということで反省点も多くありましたが、次年度以降も継続して行えるのであれば今年度の経験を活かして次年度はより大きな成果が得られるよ

うにしたいと思います。

あと継続事業として『小松市教育委員会との懇談会』では、研修委員会で各単Pの意見・輝く心の学び委員会からは母親ならではの視点からのご意見を賜り、取りまとめたものを持って小松市の教育に対するこれからの方向性などをお聞きすることができました。こちらとつきましても皆様と共有できるようご報告をさせていただきたいと思っております。

今年度は新しいことを開催し委員会の皆様のご協力と輝く学びの委員会、多くの皆様のご協力があり無事今年度を終えることができました。

この場をお借りして改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。

輝く心の学び委員会 日帰り研修会

開催日 / 令和6年12月3日(火)

場所 / 菟橋神社・滝本莫産店・すみげん・日吉神社
長保屋茶舗・本陣美術館・割烹寿司米八(昼食)



12月3日(火)に輝く心の学び委員会で日帰り研修会を開催しました。研修先を決める際、今回はバスで移動する費用と時間を省き、地元旧市街地を歩く小松再発見の体験型ツアーを企画致しました。

先ず菟橋神社の参拝から始まり日吉神社をつなぐ開運ロードを巡ります。龍助町の曳山特別公開と口上で迎えて頂き子供歌舞伎に触れました。旧市街地老舗二店に分かれ滝本莫産店では小松イグサを、すみげんでは出汁の事を学びました。日吉神社で合流しそれぞれの神社で開運色を選び九谷焼の兎と猿と御縁の御朱印をお土産に「うさる詣」を体感しました。こまつ町家文庫では、長保屋茶舗12代目による利き茶体験をし、お茶と行松旭松堂の銘菓で文化と歴史を学びました。

昼食は割烹寿司米八で美味しいお料理を堪能しながら交流しました。最後は本陣美術館で会期中だった小松の人間国宝、吉田美統の世界を学芸員の方に解説して頂き九谷焼や釉裏金彩の技法や知識を深めました。

普段通り過ぎる旧市街地で改めて歴史や伝統文化に触れ様々な分野の手仕事が継承されていると知り、大人も楽しく学び、子どもたちの未来にもつながる可能性も感じ、豊かな心を育てる誇れる街だと実感しました。大変有意義な時間を過ごせた小松の旅となりました。ありがとうございました。

輝く心の学び委員会 委員長 金田奈津代



令和6年度 小松市立学校PTA連合会 豊かな心を育む委員会

親子ふれあい体験

早起きして体を動かそう！初めての方でも楽しく乗れちゃいます！

早朝カヌー体験で木場潟満喫しよう

開催日：令和6年8月4日(日) 場所：木場潟カヌー乗り場

豊かな心を育む委員会 委員長 水谷 一博

毎回好評をいただいています親子ふれあい体験を、今年は8月4日(日曜日)木場潟中央園地カヌー乗り場にて4年生から6年生を対象に開催いたしました。

親子ふれあい体験では「早朝カヌー体験」を早朝7時から10時の3時間行いました。熱中症対策として開始時間を早めること対応させていただきました。当日は天候もよく7時ごろは涼しく体を動かしやすい気候でした。

具体的な取り組み内容ですが、1人乗りカヌー、2人乗りカヌー、10人乗りドラゴンカヌーと3種類用意し、ローテーションを組んで各組親子体験してもらいました。まず、2人乗りカヌーについては親子で呼吸を合わせて漕いで自由に木場潟を楽しんでいただけたと思います。1人乗りカヌーでは個人で漕ぎ、慣れてきた頃には遠くのほうまで行き見えなくなる方もいらっしゃいました。10人乗りカヌーについては乗員皆で呼吸を合わせて漕ぐ形でした、最初はなかなかうまく進みませんでした。時間がたつと慣れてきて10人乗りドラゴンカヌー2艇により競争を行いました。呼吸を合わせて漕いでいただきとてもスピードがでており、観戦していてとても面白かったです。

カヌー体験をしたことがない方多かったとのことで良い経験になったと思います。子どもたちにはとても楽しい時間だったみたいで3時間経過してもまだ乗りたい！といった声も上がっていました。保護者の方たちは2時間経過する9時過ぎにはぐったりお疲れの方も見受けられました。カヌー体験中は皆さんの笑顔がよく見え非常に楽しんでいただけたと思います。

終了後のアンケートにおいても「とても楽しめた」と皆様からお声をいただき大変充実した親子ふれあい体験を開催させていただくことができました。これもPTAに関わる皆様のご理解、ご支援あつての事と、心から感謝申し上げます。また来年度は皆様から頂いたご意見、アンケートを活かし、より充実した体験会を開催できればと考えています。

今後とも豊かな心を育む委員会をよろしく願いいたします。

今年一年ありがとうございました。



編集後記

今年度は例年以上に様々な行事が開催されました。委員会全体で協力して、活動を伝えられたこと、協力いただきました関係者の皆様に感謝しております。

これからもPTAだより・HP・Facebook等を通して活動報告を行ってまいります。

広報委員長 杉山 広明 (犬丸小)

広報委員会

坂本 啓太 (芦城中)・杉山 広明 (犬丸小)
 濱口 淳也 (丸内中)・土山 幸宏 (犬丸小)
 岩岡真梨花 (苗代小)・宮崎多可志 (粟津小)
 寺西 克実 (那谷小)・小泉 高広 (松東みどり)
 谷川 昌弘 (中海小)
 新名 孝 (矢田野小学校校長)

